



# 吉川友子 後援会報 No3

～みなさんの声を市政に届けたい～

発行 平成 25 年 3 月 24 日



## 私の目指す地域の姿

### 子育て支援が充実した街

- 出産支援、育児・教育費の軽減、保育園の充実など
- 通学路や通学手段の整備
- 給食食材の安全性

#### 『地産地消推進』

- ◎地元の安全食材生産支援



※子どもにとって安全な環境を求め移住してくる子育て世代も増えています。

## 地域全体で子育てを！

親同士のつながりあえる場をつくる  
(人との交流で精神負担を軽減)

若者が定住する(人口増加)

## 人口増加により地域が活性化！

- 消費拡大により地域経済が活性化する
- 税収が増える→高齢者を支える
- 都市の密集化が防げる
- 農業・林業の後継者育成
- ニーズが増えると雇用が増え、労働条件も良くなり、働きやすくなる。  
(労働者数が多ければ、子育て世代も休みが取りやすいなど)
- 教育施設が増える



郷土を愛せる心豊かな子どもを育てる

将来！

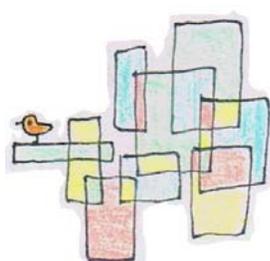
地場産業・高齢者福祉を支える大人に！

子どもたちの健全育成は、将来への希望&投資です。

私たち、そして子どもたちのために今やるべきこと！！

### 自然環境保護

- 水資源を守るため、山林・里山を荒らさない＝山林経営支援
- 自然エネルギーの導入推進  
エネルギー自給の街づくりに取り組む



3月2日に「後援会報告会+懇親会」が行なわれました。

ご多忙の中、大勢の皆さんにご参加頂き、ありがとうございました。その場で、ボランティア参加をご記入頂き、感謝でいっぱいです。

事務所も常駐出来る体制を整えつつありますので、是非お立ち寄り下さい。



後援会員 高塚弘さんより、「必勝」のプレゼント。自作の「詩吟」を声高らかに読み上げて頂きました。吉川友子を積極的に応援下さり、そのパワーに脱帽です。高塚さん、スゴイです！！

後援会報告会+懇親会が行なわれました



赤ちゃん連れのご参加  
ありがとうございました！

田村至さんにインド民族音楽「パウル」を演奏して頂きました。2曲披露して頂いた中で、「世界はこんなに美しいのにそう見えないのは、あなたの目が曇っているのではないですか？」という意味の歌がありました。美しい世界を「美しい」と感じられる心でありたいですね。田村さんステキな演奏ありがとうございました。

## 世代間交流に参加

望月の子育てサークル「エンジェルランド」と、吉川友子が所属する「おんなしよりの会」の交流会「郷土料理講習会」で、「放射能について」お話させていただきました。

「1秒間に10個放射性核種が壊れて放射線を発することを『10ベクレル』と言う」という基礎知識から、どんな所に放射線が溜まりやすいか、野性きのこをどうしても食べたい時の調理法、デトックス食材の紹介など。若いお母さんから質問が出され、関心の高さが伺えました。



原発事故だけでなく、世界で行なわれている放射線物質が身近に存在する現代。体内に摂取してしまった物を体外に排出させるには、「味噌」がいそおすすめです。味噌汁は1日2杯飲んでもOK! 「砂糖は×」です。色々調べてみると、行き着くところは「日本食」がデトックスの意味でも身体に良いということでした。



1月26日事務所開きより

吉川友子 へ挨拶

(前号からの続き)

私、個人的には10年ほど望月を離れ、アメリカで暮らしていました。が、英語も分からず、はじめは学校での授業もわからない状態でした。でも先生方や友達もいつも気にかけてくれ、重要なことは必ず個別に説明してくれました。初めて家族やふるさとを離れての生活の中で、学ぶことは多く、文化や言葉の違う世界でも人の温かみは同じだということも知りました。

でもやはり帰って来たくなるのはこの田園風景、のどかな生活だったのです。

私は小さいころ、

両親が共働きだったので、近所の加藤さんというお宅に預けられていました。今は亡きおばさんは私たちが自分の子どものようにかわいがってくれ、私も「かーちゃん」と呼んでいました。近くに親戚がなかったのですが、加藤さんや近所の方々がみな家族同様になってくれた温かさは今でも私の原動力となっています。



それが私のあこがれる「地域での子育て」の基礎だと思っています。



今の時代はお母さんが一人で子育てをしていて、行き詰まってしまうことは多々あります。幸い望月地区では自主的にやっている子育てサークルなどが発達している、横のつながりもつくりやすい環境ではあります。

みんなが地域の子ども達を他人の子と思わず、自分の子同様に考えたらすばらしい社会になると思いませんか? 子ども達は国の財産であり、私たちの未来です。その未来を担う子どもたちを健全に育てていくのが私たち親、そして地域の責任ではないでしょうか。



その子ども達のために、そしてもちろん今はもう子どもではない私たち大人やお年寄りのためにも、地域医療の充実や自然環境の保護などは重要な課題です。

地域医療に関しては高度医療を発展させていくと共に地域に根付いた病院の役割の重要性を重視していきたいと思っています。自然環境については、この豊かな自然を守り、子へ孫へ、財産として受け継いでいかなければいけないと思います。

私は地方議員の最大の任務は、常に一市民の立場から、市民の生活の改善と向上を見守ることだと信じ、母親として、一市民としてより住みやすい街づくりをみなさんと一緒に進めていきたいと思っています。

私一人ではできないことばかりです。私一人で世界平和を願ってもなかなか世界は平和になりません。でも、自分にできること、私の中の平和、家庭の平和、地域であれば、一歩ずつ輪を広げていかなければ、一歩ずつ実現に近づくのではないのでしょうか? みんなが同じことを願えばきっと実現すると信じています。(後略)

私たちも応援しています

伊藤君子	小林美佳	高塚紀之	廣末恵子
木村陽子	齋梧里実	高根英貴	細萱隆
黒岩正男	清水幸江	滝沢さや香	

(あいうえお順)

吉川友子後援会事務所  
電話・FAX 0267-77-7590